

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【公表番号】特表 2005-538676 (P2005-538676A)  
 【公表日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-049  
 【出願番号】特願 2004-536814 (P2004-536814)  
 【国際特許分類】

H 0 2 P 25/06 (2006.01)

F 0 2 D 41/20 (2006.01)

【F I】

H 0 2 P 7/00 1 0 1 B

F 0 2 D 41/20 3 3 0

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 23 年 4 月 8 日 (2011.4.8)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 3 5  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 3 5】

P W M 信号のオンオフ周期の期間の長さ T C はいわゆる P W M 信号のチョップ周波数に対応する。制御部 2 0 及び / 又はパルス形成部 2 2 はこの期間の長さ T C を可変に変更することができる。複数のアクチュエータ 1 0 が存在する場合には、この持続時間 T C を相互に依存せずに、また可変に変更することができる。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 3 6  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 3 6】

種々のアクチュエータ 1 0 に配属されている第 1 のスイッチ 1 1 のオン時点及び / 又はオフ時点が可能な限り同時生じないことを保証するために、個々のアクチュエータ 1 0 は位相シフトされて駆動制御される。期間の長さ T C が変更されることによって、切替エッジの重なり合う降下の発生が可能な限り僅かであるよう、この位相関係に影響を及ぼすことができる。